

# 議題 1 平成29年度当初予算（案）について

## <予算の概要>

予算額は、1,122億7千万円で対前年度比15億2千万円、1.4%増となっている。  
 主な理由は、高齢化と医療の高度化による、保険給付費の増である。

### (1) 被保険者数及び世帯数

被保険者数は、235,000人で対前年度比11,000人、4.5%の減、世帯数は148,742世帯で対前年度比3,540世帯、2.3%の減となっている。

### (2) 主な歳入の状況

保険料は、229億7千万円で料率の改定や収納率の向上などの増加要因があるものの、被保険者数の減により、対前年度比3億5千万円、1.5%の減となっている。

国庫・県支出金等は、802億6千万円で前期高齢者交付金の増などにより、対前年度比15億4千万円、2%の増となっている。

一般会計繰入金は、88億4千万円で対前年度比3億3千万円、3.9%の増となっている。内訳は、低所得者数に応じた国からの財政支援などの法定繰入金が5億7千万円の増、実質収支比率改善のための法定外繰入金は2億4千万円の減となっている。

(単位：億円)

区 分	平成28年度予算(A)	平成29年度予算(B)	増減(B)-(A)	増減率
国民健康保険料	233.2	229.7	△ 3.5	△1.5%
国庫・県支出金等	787.2	802.6	15.4	2.0%
うち前期高齢者交付金	267.9	282.5	14.6	5.4%
うち共同事業交付金	252.5	249.1	△ 3.4	△1.3%
うち国庫支出金	203.6	207.1	3.5	1.7%
一般会計繰入金	85.1	88.4	3.3	3.9%
うち法定繰入金	56.0	61.7	5.7	10.2%
うち法定外繰入金	29.1	26.7	△ 2.4	△8.2%
その他収入	2.0	2.0	0.0	0.0%
うち第三者納付金、返納金	1.1	1.1	0.0	0.0%
合 計	1,107.5	1,122.7	15.2	1.4%

### (3) 主な歳出の状況

保険給付費は、676億9千万円で対前年度比15億9千万円、2.4%の増となっており、被保険者1人当たりの保険給付費は285,333円で対前年度比19,573円、7.4%の増となっている。

拠出金等は、437億8千万円で共同事業拠出金が保険給付と連動して増となるが、後期高齢者支援金、介護納付金が被保険者数と連動して減となり対前年度比5千万円、0.1%の減となっている。

(単位：億円)

区 分	平成28年度予算	平成29年度予算	増減(B)-(A)	増減率
保険給付費 (審査支払手数料・出産・葬)	661.0	676.9	15.9	2.4%
保健事業費 (特定健康診査等・人間ドック)	8.2	8.0	△ 0.2	△2.4%
拠出金等	438.3	437.8	△ 0.5	△0.1%
うち共同事業拠出金	248.2	250.6	2.4	0.9%
うち後期高齢者支援金	129.7	126.1	△ 3.6	△2.8%
うち介護納付金	47.2	47.1	△ 0.1	△0.2%
合 計	1,107.5	1,122.7	15.2	1.4%

## 平成28年度当初予算

(単位：億円)

[歳入]	[歳出]
1,107.5億円	1,107.5億円
<b>保険料 (21.0%)</b> 233.2	
<b>国庫・県支出金等 (71.1%)</b> 787.2	<b>保険給付費 (59.7%)</b> 661.0
療養給付費等負担金 167.9	
財政調整交付金 27.9	
都道府県財政調整交付金 42.6	<b>保健事業費 (特定健診、ドック) (0.7%)</b> 8.2
その他補助金、交付金 15.6	
前期高齢者交付金 267.9	<b>拠出金等 (39.6%)</b> 438.3
共同事業交付金 252.5	内訳: (共同事業拠出金等) (248.2) (後期高齢者支援金) (129.7) (介護納付金) (47.2) など
療養給付費等交付金 12.8	
<b>繰入金 (7.7%)</b> 85.1	
内訳: (法定繰入金) (56.0)	
(法定外繰入金: ルール分) (3.0)	
( " : 収支不足分) (26.1)	
	<b>その他収入 2.0 (0.2%)</b>

## 平成29年度当初予算(案)

(単位：億円)

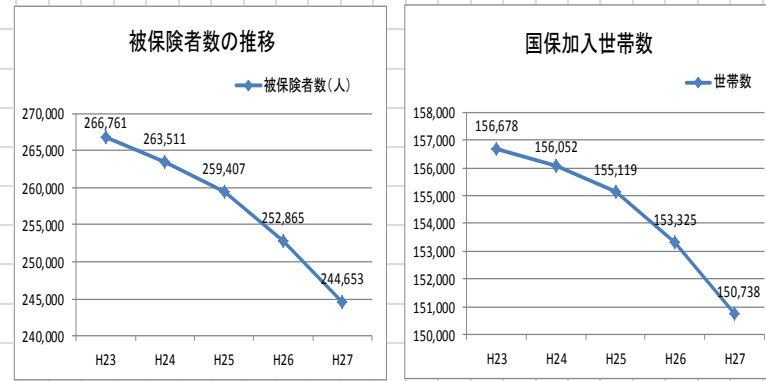
[歳入]	[歳出]
1,122.7億円	1,122.7億円
<b>保険料 (20.5%)</b> 229.7	
<b>国庫・県支出金等 (71.4%)</b> 802.6	<b>保険給付費 (60.3%)</b> 676.9
療養給付費等負担金 167.3	
財政調整交付金 30.4	
都道府県財政調整交付金 44.5	<b>保健事業費 (特定健診、ドック) (0.7%)</b> 8.0
その他補助金、交付金 18.1	
前期高齢者交付金 282.5	<b>拠出金等 (39.0%)</b> 437.8
共同事業交付金 249.1	内訳: (共同事業拠出金等) (250.6) (後期高齢者支援金) (126.1) (介護納付金) (47.1) など
療養給付費等交付金 10.7	
<b>繰入金 (7.9%)</b> 88.4	
内訳: (法定繰入金) (61.7)	
(法定外繰入金: ルール分) (2.9)	
( " : 収支不足分) (23.8)	
	<b>その他収入 2.0 (0.2%)</b>

# 国民健康保険事業の概要

## (1) 加入者について (決算)

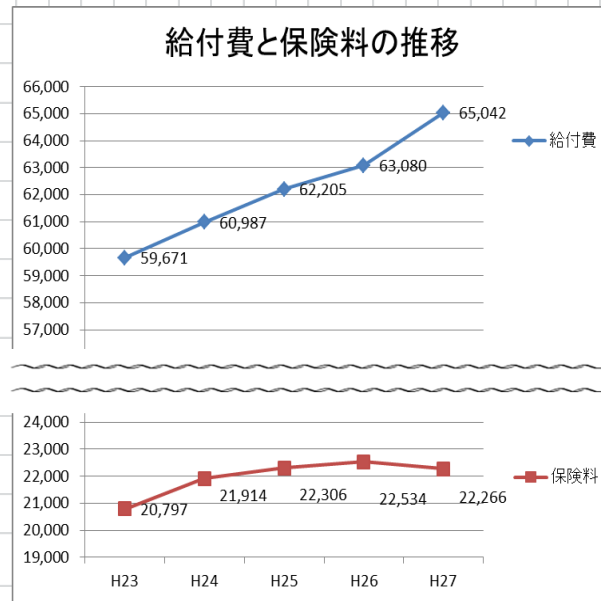
(特徴) 高齢者、低所得者が多い。

	H27	備考
被保険者数(人)	244,653	市人口の1/4
うち65歳以上	99,419	被保険者数の40%
世帯数(世帯)	150,738	市世帯数の34%
うち所得200万以下	100,542	被保険世帯数の67%



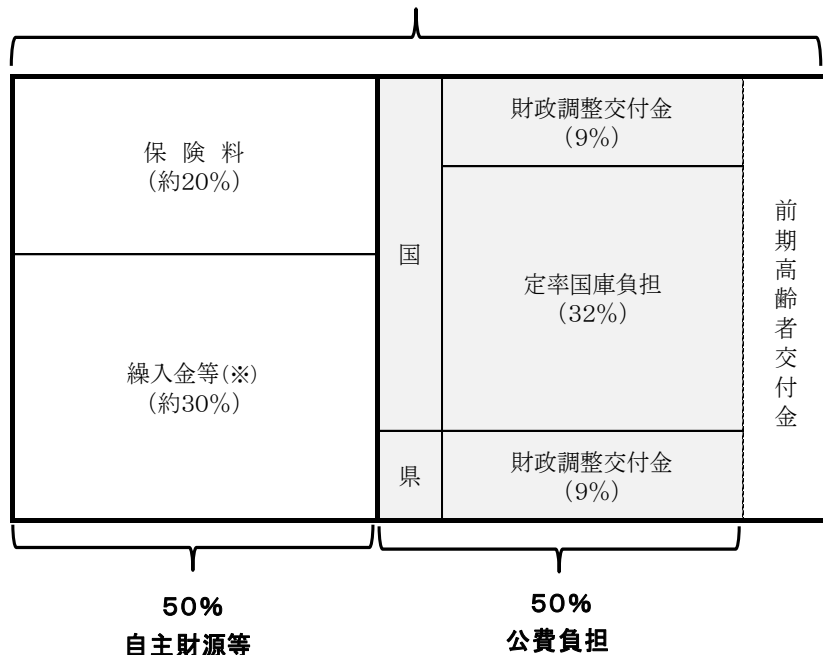
## (2) 給付費と保険料収入の状況 (決算)

年度	給付費	保険料
H23	59,671	20,797
H24	60,987	21,914
H25	62,205	22,306
H26	63,080	22,534
H27	65,042	22,266



## (3) 国保特別会計のしくみ

歳出(医療給付費等)



※ 繰入金について

<法定> (主なもの)

- 保険料軽減分 (7.5.2割軽減)
- 保険者支援分
  - …保険料軽減対象者数に応じて繰入
- 職員給与等繰入
  - …人件費、事務費に係る経費
- 出産育児一時金繰入
  - …要した経費の2/3

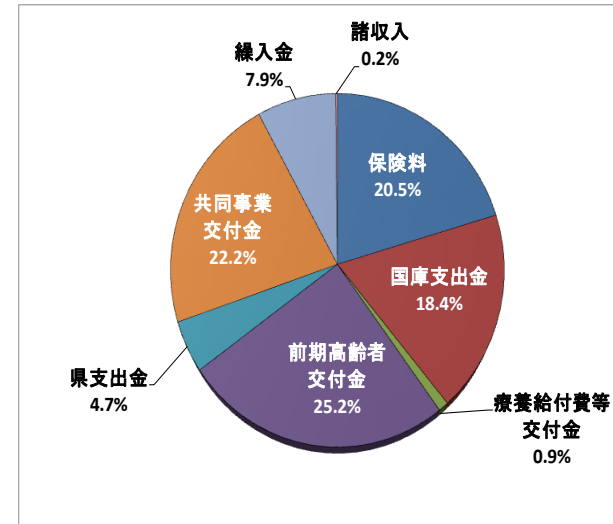
<法定外> (ルール分)

- 人間ドック、脳ドックに要した費用の3/4
- 保険料独自減免分 (1割減免)

(ルール外分)

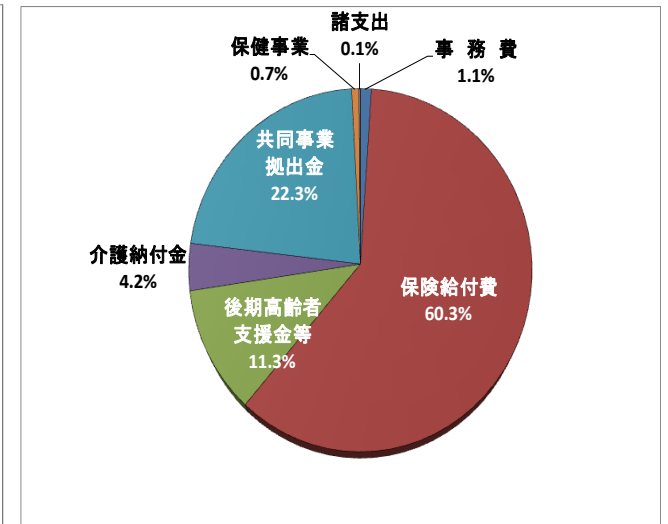
- 赤字繰入…収支不足を埋めるための繰入

## (4) H29年度予算



<歳入> 億円

保険料	229.7
国庫支出金	207.1
療養給付費等交付金	10.7
前期高齢者交付金	282.5
県支出金	53.2
共同事業交付金	249.1
繰入金	88.4
諸収入	2.0
合計	1122.7



<歳出> 億円

事務費	11.9
保険給付費	676.9
後期高齢者支援金等	126.7
介護納付金	47.1
共同事業拠出金	250.6
保健事業	8.0
諸支出	1.5
合計	1122.7

前期高齢者交付金・・・国保や被用者保険の65歳から74歳の前期高齢者の偏在による保険者間の負担の不均衡を各保険者の加入者数に応じて調整

共同事業交付金・拠出金・・・「保険財政共同安定化事業」、県内全体の医療費について、各市町村の被保険者数の割合等一定のルールに応じて拠出し負担を共有する仕組み